

豊岡市立弘道小学校 NO.10

学校だより

【学校教育目標】「考え つながり 学び続ける子」

弘道小学校ブログ<http://koudoues.blog.fc2.com>

週1~2回更新中。
ぜひご覧下さい。



文責 内海忠裕

令和6年12月2日

学習発表会

「非認知能力(生きる力)」を高めよう

11月16日(土)は、多くの保護者の皆様にお越しいただき、学習発表会を開催しました。「自分でめあてを決めたり、練習に参加する態度を選択させたりしながら、めあてに向かって取り組むそのプロセス」を大切にしてきました。生きる力のもととなる非認知能力の向上につながるからです。

子ども達が生きるこれからの社会では、非常に変化が激しく、何が正解か容易に判断できず、自分であふれる情報を取捨選択し、自ら考え判断しなければやっていけない世界です。

経団連のアンケートでは、近年、新入社員に求める資質として、「主体性」「協調性」「実行力」「チームワーク」「コミュニケーション能力」等が挙げられています。自分も他者も「幸せな状態(ウェルビーイング)」を目指し、主体的に他者と協働し、合意形成しながら新たな価値を生み出す人材が求められているのです。

学習発表会では、子ども一人一人が自分の役割を自覚し、仲間と一緒に力を出そうと決めていました。仲間の声を聴き、他者の楽器の音色を聴き、自分はどうか演奏するか自己決定していました。驚いたのは、聴く態度です。発表が始まると何の指示も注意も受けることなく、発表者を注視し、静かに聴き入っていました。友達とおしゃべりしたい気持ちや動きたい衝動をぐっと抑え、全体の雰囲気を感じ取り、発表者の真剣さを受け取り、あのような見事な態度で発表を受け止めていたのです。すべて、自分で選び自分で決定した行動です。低学年でもそうできていたことに驚きました。

子ども達が自己選択、自己決定し、求める自分に近づけることは、非認知能力の向上につながります。大切なことは、言われてやらされてするのではなく、目的や意味、価値を考え、自分でチャレンジする子どもに育てていくことです。どんな時も主人公の意識を持たせ、集団で刺激しあいながら育てていくことです。

小さな学習発表会でしたが、その発表までのプロセスに、未来を生きる子ども達に付けたい資質能力の要素が入っています。じっくり、ゆっくり、子ども達のやる気や意欲を引き出し、満足感や達成感など「しあわせ」を感じられるよう、粘り強く取組を続けていきます。

また、非認知能力の向上は学校だけで育てるものではありません。ご家庭でも、保護者の皆様の励ましや見守り、自己有用感を育てる関わりが欠かせません。今後とも、子ども達の生きる力の育成に向けて、ご理解とご支援をお願いいたします。学習発表会へのご来場、ありがとうございました。

【子ども達の声】

◎私は自分のめあての「笑顔にする演奏」を達成できたと思います。3年生の子たちから「5年生みたいになりたい。」と言ってくれてうれしかったです。

◎6年生の発表を見て、普通の日常が幸せということがわかって、自分も6年生になったら、今の6年生みたいにすごい発表ができるようになりたいです。

(5年生児童)

- ◎今までの学習発表会で一番一体感がある発表会になりました。ソプラノやアルトが体育館いっぱい広がっているなどと思いました。
- ◎発表の時にみんなが真剣に聴いてくれて伝わっているなどと思いました。合奏では、ほかの楽器の音を聴きながら、それに合わせて合奏できました。
- ◎今までの成長と練習のがんばりを伝えられました。みんなの音が合わさって、楽器の響きを聴いてもらえてよかったです。
(6年生児童)

【保護者の皆様の声】

- ◎皆一生懸命発表しようとする姿が見られてすごく良かったです！！声もしっかり出ていて素晴らしかったです！！
- ◎昨年よりも堂々とした姿で発表していて成長を感じる事が出来ました。
- ◎各々自分の役割を一生懸命に果たしていて、頑張りが伝わってきました。
- ◎撮影場所を用意してあり、気兼ねなく撮影できてありがたかったです。
- ◎どの子も元気よくイキイキと発表していて、一人ひとりが主役のとても素敵な発表会でした。とても楽しいひとときでした。これもひとえに先生方が丁寧に指導して下さったおかげです。いつもありがとうございます。
- ◎さすが六年生でした。発表も演奏も素晴らしかったです。
- 発表会に時間通りに行き、案内され着席と同時に発表が始まってしまい、ビデオ撮影が途中からとなってしまうました。我が家だけでなく、慌てて撮影する方もちらほらいました。もう少し時間に余裕が欲しかったです。
- 1番前列の子が見えづらいです。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生